



## — 『夢の教室』（5年生） —



13日（木）に5年生で『夢の教室』が行われました。

この夢の教室では、講師にスポーツで活躍されていた人を招いて、「夢」について語っていただくというものです。今回来ていただいたのは、川上 直子先生です。川上先生は、元なでしこジャパンで活躍され、ワールドカップにも出場されていた方です。その川上先生が、これまで歩んできた人生の中で、考えてきたことを今回の授業の中で教えていただきました。

た。

この教室は、2部構成されていました。

最初は、「講師の先生と仲良くなろう」ということで、1時間ほど体と心をほぐすゲームをしました。行ったゲームは、簡単なゲームなのですが、少しの条件を入れることで難しくなり、みんなで話し合えないと達成できないように工夫されていました。

子どもたちは、ゲームをクリアしたいという気持ちになり、自然と川上先生を含めてみんなで話し合うことができました。和気あいあいとした時間が過ごせました。



みんな真剣に話し合いました。良い意見が出せていました。



「小さなことでも少しずつやり続けることも大切だよ。」継続は力なり。とも教えていただきました。

2時間目は、川上先生のこれまでの歩んできた人生について教えていただきました。

川上先生が夢を持ったのは、中学1年生の時だったそうです。その夢は、「サッカー選手になり日本代表になる」というものでした。それに向かって、努力をしていくのですが、夢をつかむまでには順風満帆ではなかったそうです。大きなけがをしたり心が落ち込んだりしてサッカーをやめようと思ったことが何度もあったそうです。それでも頑張ってきたのは、自分を支えてくれる周りの存在だったそうです。応援してくれている人にここであきらめたら恥ずかしいそう思う気持ちになったことも大きな気づきだったそうです。そして、夢をつかむまでのこの壁（試練）は、乗り越えることで「自信」となり自分を強くしてくれたともおっしゃっていました。また、その頑

張ってきたことは、たとえ夢が叶わなくともその後の人生の中で役に立つことがあるとも教えていただきました。楽しく、そして、これからのことを考える素敵な時間を過ごせました。

今日の話をしっかり覚えておいてほしいなと思いました。